

大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用基本計画進捗状況

令和2年9月11日
地域活性推進課

1 報告経過

- ・パブリックコメント実施概要
- ・令和2年5月11日パブコメ公表資料
- ・パブコメ結果速報
- ・令和2年7月26日意見交換会実施予定について

2 今回報告内容

- ・令和2年7月26日意見交換会について
（①意見交換概要等、②配布資料）

①意見交換概要等

■日時 令和2年7月26日（日） 10時～

■会場 大隈体育館

■次第

- ・開会
- ・資料説明
- ・意見交換
- ・終了後、現地案内

■市民の参加者 約30人

■主な意見交換内容 . . . 意見数8件
※次ページ参照

②配布資料 . . . 巻末添付

■意見数：8件			
No.	項目	ご意見	回答
1	体育館改修基本計画（案）	避難所指定されていることをふまえた大隈体育館の改修について	新嘉穂支所においては、防災的な拠点を踏まえたところで準備をさせていただいております。この体育館を含めた形で防災的な対応が出来ないか、担当課と検討していきたいと思っております。
		新型コロナウイルス対応について	避難所におけるコロナ対策については、一定の距離をもった避難の仕方とか一定の距離を取る等行っている。今後も引続き安全対策を行っていききたいと思っております
	大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画（案）	地区内幹線道路については車道であるのか 駐車場の確保についての考え方は	この黒点の部分は一般的な車道として一番望ましい形と思われます。 先程担当が説明しましたように観光と文化のお客様を迎え入れるための駐車場という考え方で検討しているところでございます。
2	大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画（案）	民間活用ゾーンの払い下げについて	民間活用ゾーンの考え方につきましては、これまで地域から提出された意見を基にしております。可能であれば民間活用ゾーンとして民間の方のご意見やアイデアをいただきながらこの地域にあった形の売却の方向のところで検討していきたいと思っております。
		地区内幹線道路のアクセスについて	道路につきましては、具体的に国道から支所のほうに適切なアプローチを作っていくための考え方と、民間活用ゾーンの区分分けのための形でございます。
3	体育館改修基本計画（案）	2階常設展示場の整備計画について	展示計画については、基本的には黒田武士の里をテーマにして考えております。関係の文化財に関連するテーマを決めてストーリー性をもって展示の内容を詰めていく必要があらうかと思っております。
	大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画（案）	駐車場ゾーンについて、利用料金の無料化、有料化について	駐車場ゾーンとしながら観光文化のアプローチのひとつとして多くの方々に使ってもらえたら一番望んでおります。そういった観点を踏まえこの基本計画を整理し、利用の仕方、また料金化につきましても整理してまいります。
4	体育館改修基本計画（案）	文化財の保護については、一日も早く、多くの文化財を有効活用してもらうよう検討してほしい	文化財の保護につきましては、教育委員会の生涯学習課文化財係等と協議を行っており、適切なものを展示していきたいと思っております。
5	大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画（案）	嘉穂庁舎後が空地になるのであれば、元々ぎおんさまの土地だからそこにぎおん様を戻していただきたい。体育館と新庁舎の間に陣羽織の保管庫を造ってほしい。	要望事項のため、回答なし。
6	大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画（案）	夫婦や子供連れ、他の町村から人が集まれるような花公園にしてほしい。	
7	体育館改修基本計画（案）	体育館を高齢者が集まれるボーリング場にしてほしい。	
8	大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画（案）	子供たちが安心して利用でき、皆が集える公園にしてほしい。若い人たちが住みやすい地域づくりをお願いしたい。	

↓ 令和2年7月17日西日本新聞

委託業者が計画について説明し、5～6月に実施した同計画のパブリックコメントに寄せられた意見を紹介。その上で、近畿大産業理工学部井原徹学部長を交えて参加者と意見交換する。終了後は、現地を歩きながらあらためて計画を説明し、理解を深める。

午前10時開始。予約不要。

**大隈小跡地など活用
市民と26日意見交換**

嘉麻市は26日、嘉穂庁舎や隣接する大隈小の跡地利活用基本計画の素案に関して、市民との意見交換会を大隈体育館で開く。参加者を募集している。

交換会では、最初に市や

参加者はスリッパとマスクを持参する。担当者は「地域の皆さんと一緒に楽しく地域づくりを進めたい。気軽に参加してほしい」と呼び掛けている。市地域活性推進課 0948（42）7404。
（長美咲）

大隈体育館改修

大隈小学校跡地利活用

嘉穂庁舎跡地利活用

意見交換会開催!

「大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用基本計画(素案)」について、たくさんのご意見(パブリックコメント)ありがとうございました。みなさまからのご意見につきましては、計画策定の参考とさせていただきます。また、計画案の概要、パブリックコメントの結果、現地の状況等について次のとおり意見交換会を予定していますのでぜひご参加ください。

皆さんの参加、
お待ちしております!

日時 令和2年 **7月26日(日)10時～**

■ **集合場所** 大隈体育館(嘉麻市大隈町724)

■ **内 容** 大隈体育館改修内容／大隈グラウンドの活用計画
大隈小学校跡地・嘉穂庁舎跡地の活用計画

■ **そ の 他** ご来場の際には屋内履物(スリッパ等)をご持参ください。

● 問／地域活性推進課 地域整備係 ☎42-7404



↑ 広報嘉麻7月号

■ 広報誌、新聞記事



↑ 令和2年7月27日毎日新聞

令和2年8月6日西日本新聞 →



嘉麻市 跡地活用で意見交換会

大隈小や嘉穂庁舎 住民30人が参加

嘉麻市は7月26日、嘉穂庁舎や隣接する大隈小の跡地活用基本計画の素案について、市民との意見交換会を大隈体育館で開いた。写真。

素案では、跡地には避難所としても活用できる広場や住民参加型の花公園、観光客に周辺を散策してもらうための駐車スペース、商業地や住宅地として使用できる民間活用ゾーンを設けている。改修して利用する大隈体育館は、スポーツができる多目的スペースは残り、2階に市の文化財設置を計画している。

交換会には地元住民約30人が集まり、赤間幸弘市長は「地区には嘉穂アルプスや歴史的な神社仏閣もある。皆さんの意見を取り入れて地域コミュニティの形成や観光振興の核をつくっていききたい」とあいさつ。委託業者から素案について説明があった後、市のまちづくりに関してアドバイスを行っている近畿大産業理工学部の井原徹学部長を交えて意見交換があった。参加者からは「文化財の設置はどんなテーマで何を展示するのか」「子どもたちを安全に遊ばせられる広場がほしい」といった質問や意見が上がった。

基本計画は本年度中に完成予定という。

（長美咲）

②配布資料

※次ページのとおり

大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用基本計画に関する パブリックコメント資料

1. 計画策定の背景と目的

本市には、古くから受け継がれてきた豊かな自然や、伝統、歴史、文化といった数多くの誇るべき資産が眠っています。その宝を今一度掘り起こし、さらに磨きをかけ、次の世代へ引き継ぐと同時に、その宝を活かしたまちづくりこそが地域の再興につながります。

大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用基本計画においては「嘉麻市地域整備基本計画」を基に、嘉穂庁舎敷地や旧大隈小学校敷地を有効活用した、商業や観光、定住促進拠点として嘉穂地域の自然環境や歴史、文化の特性をいかした景観に沿った地域づくりを目指し、地域の要望・意見等を踏まえ様々な手法を模索しながら計画の策定を行うことを目的とするものです。

これまで行った地域の意見徴求方法につきましては次のとおりです。⇒【検討経緯】

①嘉穂小学校開校準備審議会 第4期 平成24年5月～平成25年3月

統合対象校の跡地利活用について(各学校区PTA代表者、各地域代表者、学識経験者、学校関係者)

②大隈小学校跡地利活用委員会 平成26年8月～平成28年12月 計8回開催

大隈小学校跡地の利活用についての検討(各地区行政区長、PTA代表者、地域推薦者等)

③嘉穂地域整備協議会 平成29年6月～平成29年12月 計7回開催

地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること(行政区長会代表、嘉麻市教育委員会、PTA連合会、地元企業、大隈小学校跡地利活用委員会、かま男女共同参画推進ネットワーク、公募委員等)

2. 第2次総合計画の位置づけについて

新庁舎の建設及び交通体系の再編に合わせて、市の構造が明確になるよう、各拠点を結ぶ骨格軸を中心に、計画的に「整備」「改善」「保全」するゾーンを設定し、訪れる人にもわかりやすいまちづくりを進めます。

新庁舎が建設される稲築地区中心部を“行政機能拠点”、碓井庁舎を中心とする地区を“教育文化・商業振興拠点”、嘉穂庁舎を中心とする地区を“観光・定住促進拠点”、山田庁舎を中心とする地区を“子育て・定住促進拠点”として、各拠点の機能を強化する土地利用を促進します。国道211号及び国道322号を“広域連携軸”として位置づけ、道路の機能強化と沿道の都市的土地利用の誘導を図ります。

また、各拠点を結ぶ県道・市道を“地域連携ネットワーク”に位置づけ、交通体系の充実や沿道の適切な土地利用の誘導を図ります。住宅地や集落地及び周辺の農地を含む地域を“田園・居住ゾーン”、その周辺の山間集落を含む山間地域を“山林ゾーン”、古処山・屏山・馬見山一帯の県立自然公園に指定された地域を“自然公園ゾーン”として位置づけ、各ゾーンの機能の維持・向上を図ります。

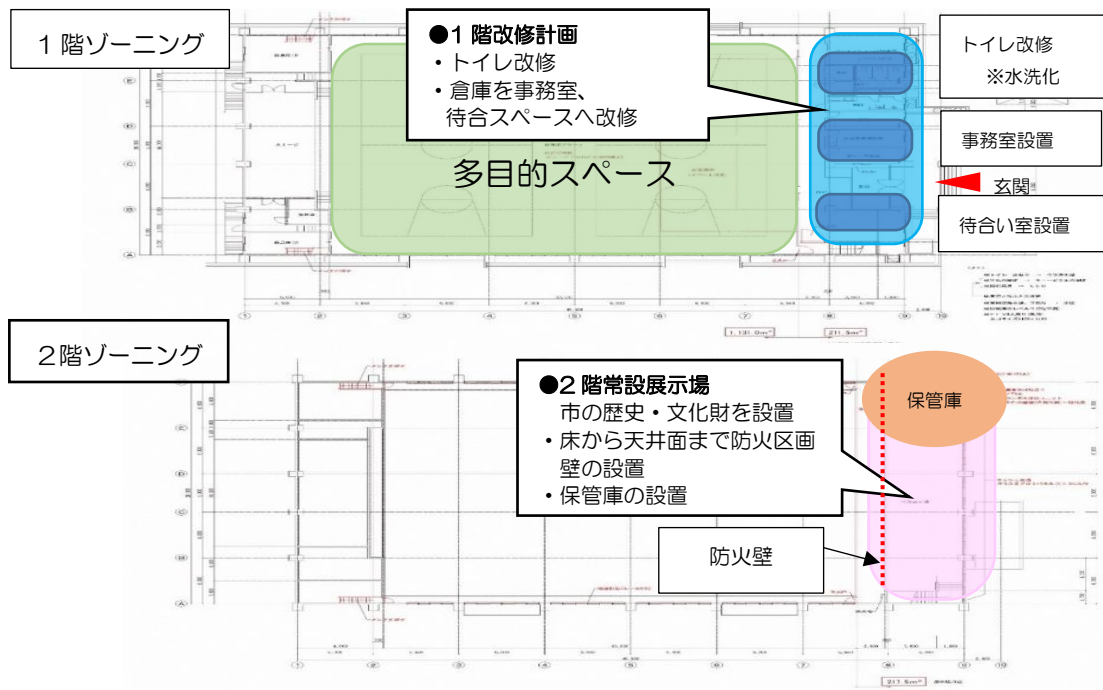
3. 嘉麻市地域整備基本計画の位置づけ

嘉麻市が1市3町で合併してから10年以上が経過し、中心4地域が活性化してそれぞれの特徴をいかしながらまちづくりを進めています。その中で、現在の分庁方式から本庁方式への変更を行うため、市民、学識者、行政が一体で検討を行い、新庁舎の建設地、中心4地域の支所のあり方、地域づくりの在り方が検討されてきました。新庁舎の位置が決定され、各庁舎跡地の利活用や支所に関する議論を行いながら、地域の個性をいかしたまちづくりの方向性を検討することが必要です。

今後の各地域の中心部のまちづくりや利活用の方向性に対応した整備や支所の整備の考えについてとりまとめることとしました。本計画では、今後各地域の拠点となる場所に地域拠点の支所を整備しながら、現状の庁舎跡地の活用について基本的な考え方を示すために策定するものです。

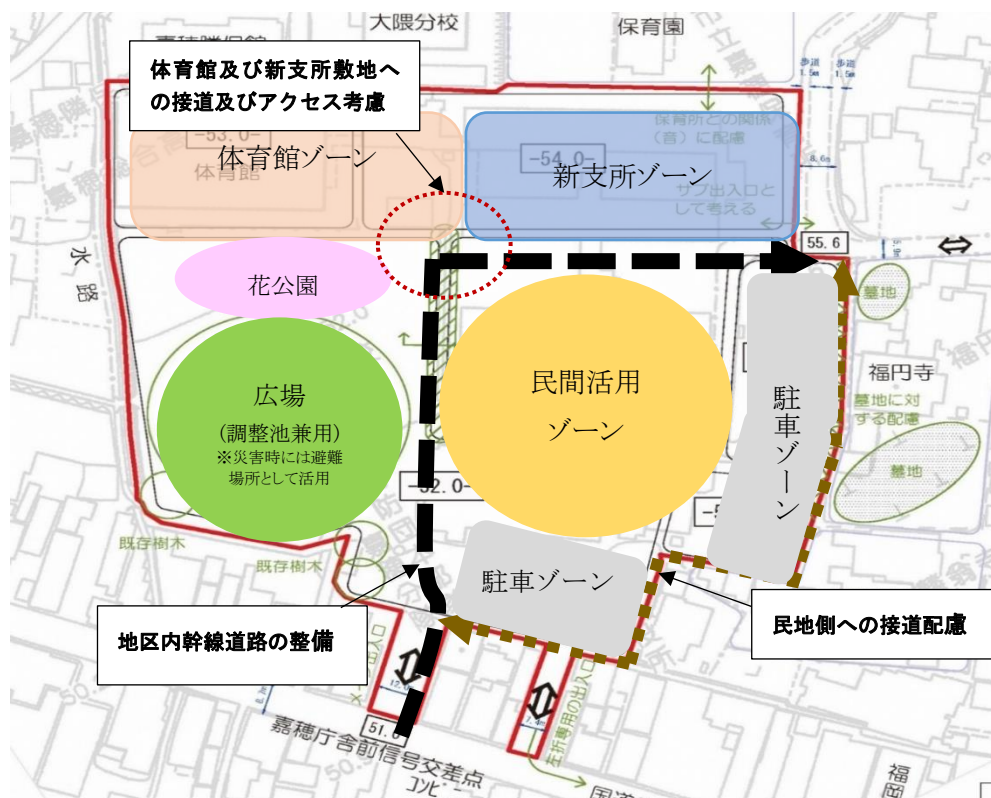
4. 体育館改修基本計画(案)

- 1階のトイレ、倉庫等の全面的な改修
- 1階の体育館スペースは多目的スペースとしてイベント時の展示スペースとして活用
- 2階を常設展示場とし、歴史・文化財の適切な保管及び有効活用のための保管庫を設置。



5. 大隈小学校及び嘉穂庁舎跡地基本計画(案)

- 地区内の幹線道路の整備 ○民間活用ゾーンの整備 ○駐車場整備
- 多目的広場兼調整池の整備 ○花公園の整備 ○その他



※大隈体育館改修及び大隈小学校・嘉穂庁舎跡地利活用については各補助制度、起債等の財源、また民間活力導入及び地域協働の可能性についても別途調査研究し、事業化について総合的に判断するものです。